

## 平成18年度 決算報告書

国立大学法人山形大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	12,316	12,316	-	
施設整備費補助金	1,965	1,965	-	
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	47	103	56	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	65	65	-	
自己収入	15,871	16,534	662	
授業料、入学料及び検定料収入	5,372	5,265	△ 106	(注2)
附属病院収入	10,349	11,076	726	(注3)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	149	192	42	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,162	1,500	337	(注5)
長期借入金	2,868	2,868	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	66	146	79	(注6)
計	34,363	35,500	1,136	
支出				
業務費	21,068	24,047	2,979	
教育研究経費	11,756	12,208	452	(注7)
診療経費	9,311	11,839	2,527	(注8)
一般管理費	6,148	3,173	△ 2,974	(注9)
施設整備費	4,898	4,898	-	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	47	103	56	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,162	1,227	64	(注11)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,038	1,022	△ 15	(注12)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	34,363	34,474	110	
収入-支出	-	1,026	1,026	

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、計画の段階で予定していなかった補助金等の受入があったため、予算額に比して決算額が56百万円多額となっております。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、平成18年度在籍者数の減、平成19年度入学者数の減及び平成19年度入試に係る志願倍率の低下により、予算額に比して決算額が106百万円少額となっております。
- (注3) 附属病院収入については、患者数の増、診療単価の増等により予算額に比して決算額が726百万円多額となっております。
- (注4) 雑収入については、資金運用による財務収入の増等により、予算額に比して決算額が42百万円多額となっております。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、共同研究の獲得に努めたこと及び寄附金の受入増により、予算額に比して決算額が337百万円多額となっております。
- (注6) 目的積立金取崩については、当初計画の段階では予定していなかった目的積立金の執行があったため、予算額に比して決算額が79百万円多額となっております。
- (注7) 教育研究経費については、計画の段階で一般管理費の区分に計上していた職員人件費を教育研究経費の区分に計上し、また、学内予算の変更等により、予算額に比して決算額が452百万円多額となっております。
- (注8) 診療経費については、計画の段階で一般管理費の区分に計上していた職員人件費を診療経費の区分に計上したため、また、(注3)に示した理由及び学内予算の変更等により、予算額に比して決算額が2,527百万円多額となっております。
- (注9) 一般管理費については、(注7、8)に示した理由及び学内予算の変更等により、予算額に比して決算額が2,974百万円少額となっております。
- (注10) 補助金等については、(注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が56百万円多額となっております。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が337百万円多額となっております。
- (注12) 長期借入金償還金については、平成18年度新規分の借入時期を変更したこと等により、予算額に比して決算額が15百万円少額となっております。